

新しい建築技術技能教育手法の実践的研究

— ものづくり大学と(社)日本左官業組合連合会の連携教育の研究成果の報告 —

1. 左官基幹技能者に求められる能力

今、専門工事業では、建設現場において「仕事の段取り、とりまとめ」などができる、優れたマネジメント能力を有する上級職長の選任が重要となっています。基幹技能者は上級職長であり、その役割として、次の4つがあげられます。

①現場の状況に応じた施工方法、工程等の提案、調整、②現場の作業を効率的に行うための適切な作業手順の決定、③部下への適切な指示、指導、④前工程・後工程に配慮した他職種の職長との連絡調整。

左官の分野では、これらの役割を果たすための左官基幹技能者に求められる必要な能力として、国交省と(社)日本左官業組合連合会(以下、日左連)の「左官工事業の技能開発計画」に以下の3つが示されています。①熟達した作業能力、②最新のものを含めた現行の技術全般に関する知識、③現場をまとめ体系立った効率的な作業を実施するための管理能力。

2. 左官基幹技能者育成への取り組み

これまで、左官の現場教育は、OJTがほとんどであり、Off-JTはほとんど行われていない状況でした。しかし、新しい左官技術技能教育は、OJTによる実践教育だけでは不十分であり、Off-JTによる教育が必要不可欠です。そこで、日左連と左官基幹技能者認定講習会の講師を務める筆者およびものづくり大学の教授陣らと連携して、新しい技術技能教育システムの検討を図るとともに(図1)、左官基幹技能者認定講習カリキュラムの作成に取り組みました。

は、ブレインストーミングによる研修方法を考案しました。具体的には、5人1チームで、ブレインストーミングにより特性要因図を作成。リーダーは、チームを適切にマネジメントし、チーム全員の意見を取りまとめ、受講者の前で発表します(写真1, 2)。受講者から「ブレインストーミングにより和やかな雰囲気の中で、多くの意見を得ることができた」といった声も聞かれ、ブレインストーミングはコミュニケーション能力とリーダーとしてのマネジメント能力を育成する手段として重要であることが確認できました。こうして左官基幹技能者は、講習会を通してマネジメント能力をOff-JTで学び、実際に現場において、元請への技術提案や部下への指示・指導を適切に行えるようになるのです。



写真1 ブレインストーミング 写真2 演習成果の発表状況

4. まとめ

ブレインストーミングでの演習によるOff-JTの手法は、他職種の講習会では行われておらず、コミュニケーション能力とリーダーとしてのマネジメント能力を効率良く習得することができるようになりました。上級左官技能者を育成するためには、見習工の段階においてもOff-JTを導入し、マネジメント教育を実施することが望まれます。また、若者の技能者の育成においては、新しい連携教育を進行させていくなかで、ものづくり大学の特色あるカリキュラムの1つであるインターンシップ制度のさらなる充実を図り、「短期就業体験→大学での集合教育→長期就業体験→同集合教育→卒業研究・制作→就業体験先へ就職」という理想的な大学での職業教育のシステムを確実なものにしていきたいと考えています。

今回のリレートークは、同じくものづくり大学に勤務しています、赤松明先生(専門:家具・木工)にお願いしたいと思います。よろしくお願いたします。

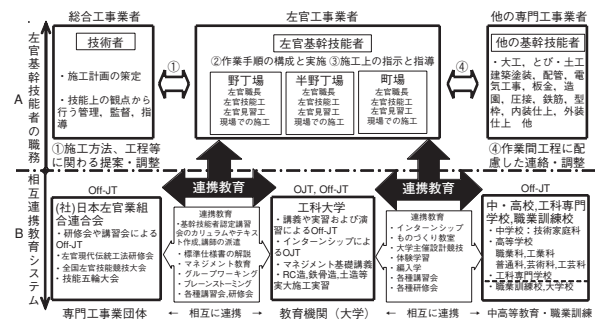


図1 専門工事業団体と教育機関の連携教育システム作成三原

3. 新しい左官技術技能教育の手法

OJTに加えOff-JTを左官基幹技能者認定講習カリキュラムの最大の特徴は、Off-JT形式で座学と演習を半半ずつとし、左官基幹技能者に必要とされる現場でのマネジメント能力や専門知識を、短期間(2泊3日)で習得させることを目的に構成している点です。特に「左官基幹技能者の役割について」

リレートークにつきましては、2008年6号をもって終了させていただきます。2009年1号より、施設紹介のページと代えさせていただきます。長期間にわたりご愛読いただき誠にありがとうございました。<事務局>